

- 問1 岡山県倉敷市の水島地区に大規模なコンビナートが形成された地理的な背景や理由として、最も適切な説明はどれですか。(2019年 愛知公立入試 類似)
1. 遠浅の海を埋め立てて広大な工業用地を確保し、大型船が接岸できる港を整備したため
 2. 近隣に大規模な炭鉱があり、エネルギー源となる石炭を安価に確保できたため
 3. 高速道路網の結節点であり、自動車による製品の高速輸送に特化したため
 4. 豊かな水資源と冷涼な気候を活かして、精密機械や電子部品の工場を誘致したため
- 問2 高知県の平野部などで盛んに行われている、ビニールハウスなどの施設を利用して作物の生育期間を短縮し、本来の収穫期よりも早い時期に出荷する栽培方法を何というか。(2025年 宮城県公立入試 類似)
1. 促成栽培
 2. 抑制栽培
 3. 近郊農業
 4. 二毛作
- 問3 1998年に明石海峡大橋が開通したことで、徳島県と関西方面を結ぶ交通状況には大きな変化が見られました。この変化の内容とその背景にある理由として、最も適切な記述を選びなさい。(2024年 埼玉県公立入試 類似)
1. 高速道路網の整備により、自動車や高速バスへの転換が進んだことで、それまで主要な交通手段であったフェリーや旅客船の輸送人数が大幅に減少した。
 2. 鉄道の複線化と高速化が進んだことで、通勤・通学客の利用が鉄道に集中し、フェリーや旅客船の輸送人数が大幅に減少した。
 3. 瀬戸内海での環境規制が強化されたことにより、大型旅客船の運航が制限されたため、フェリーの輸送人数が大幅に減少した。
 4. 航空路線の拡充と運賃の低価格化が進んだことで、遠距離移動の利便性が高まり、短距離のフェリー輸送人数が大幅に減少した。
- 問4 日本海に面した山陰地方と、瀬戸内海に面した瀬戸内地方の気候の特色を比較した説明として、正しいものはどれですか。(2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 山陰地方は冬に北西の季節風の影響で降水量(降雪量)が多くなり、瀬戸内地方は山地に挟まれているため年間を通じて降水量が少ない。
 2. 山陰地方は夏に南東の季節風の影響で降水量が多くなり、瀬戸内地方は季節風の影響を直接受けるため冬の降水量が多い。
 3. 山陰地方は北西の季節風が中国山地に遮られるため年間を通じて乾燥し、瀬戸内地方は冬の季節風によって積雪が多くなる。
 4. 山陰地方は年間を通じて降水量が極めて少なく、瀬戸内地方は黒潮の影響を強く受けるため冬に温暖で雨がが多い。
- 問5 四国地方に位置するある県は、2016年の統計においてレモンの収穫量が全国の20.8%を占めており、広島県に次いで国内第2位の産地となっています。この県として正しい名称を答えなさい。(2020年 長野県公立入試 類似)
1. 愛媛県
 2. 香川県
 3. 徳島県
 4. 高知県
- 問6 岡山県の産業の特色について、土地の利用状況と生産品目の組み合わせとして正しい説明はどれですか。(2020年 徳島公立入試 類似)
1. 臨海部では石油化学や製鉄などの重化学工業が集積し、丘陵地では白桃やマスカットなどの果実栽培が行われている。
 2. 広大な平野部では大規模な機械化農業による稲作が行われ、山間部では冷涼な気候を活かしたキャベツの栽培が盛んである。
 3. 太平洋に面した温暖な気候を利用して、平野部では茶やみかんの栽培が行われ、臨海部ではオートバイの製造が盛んである。
 4. 火山灰が堆積した広大な台地でサツマイモや茶の栽培が行われ、臨海部ではロケットの打ち上げ施設などが整備されている。
- 問7 本州と九州の間には関門海峡があり、これらを結ぶ陸上交通網は物流において極めて重要な役割を果たしています。本州の最西端に位置する県と、九州の北九州市を結んでいる橋の名称として正しいものはどれですか。(2017年 長野県公立入試 類似)
1. 関門橋
 2. 明石海峡大橋
 3. 瀬戸大橋
 4. 大鳴門橋
- 問8 広島県の工業において、製造品出荷額の36.2%を「機械工業」が占めている背景や理由として、適切な説明はどれですか。(2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 自動車の製造や造船などの加工組立型産業が集積しているため。
 2. 広大な農地を活かした食品加工業が県の全域で発達しているため。
 3. 石油化学コンビナートが集中し、プラスチックなどの生産が最大であるため。
 4. 高速道路沿いにIC(集積回路)を生産する電子部品工場が集中しているため。
- 問9 高知県では、冬から春の時期に出荷量を増やすために、温暖な気候やビニールハウスを活用してなすの成長を早める工夫をしています。このように、自然条件や施設を利用して作物の出荷時期を本来の時期よりも早める農業形態を何と呼びますか。(2025年 三重公立入試 類似)
1. 促成栽培
 2. 抑制栽培
 3. 近郊農業
 4. 適地適作
- 問10 島根県の工業構造について、製造品出荷額の統計資料から読み取れる背景や特徴を説明したものと、最も適切なものはどれですか。(2023年 滋賀公立入試 類似)
1. 歴史的な背景に由来する鉄鋼業が、県全体の製造品出荷額において主要な産業の一つとなっている。
 2. 阪神工業地帯の一角を担う地域として、大規模な石油化学コンビナートが沿岸部に形成されている。
 3. 高速道路網の整備により、大消費地に供給するための食品工業が製造品出荷額の第1位となっている。
 4. シリコンアイランドと呼ばれるような、大規模な半導体工場を中心とした工業集積が見られる。
- 問11 高知県では、冬から春にかけての出荷時期において、東京市場での卸売価格が高い水準にあることを利用した農業が行われています。このような、温暖な気候や施設を利用して作物の成長を早め、他の産地よりも時期をずらして出荷する栽培方法の名称はどれですか。(2020年 奈良公立入試 類似)
1. 促成栽培
 2. 抑制栽培
 3. 近郊農業
 4. 有機農業
- 問12 1990年代半ばに本州四国連絡橋が開通したことは、愛媛県などの養殖業に大きな影響を与えました。この交通網の整備が養殖マダいの生産量を増加させた理由として、最も適切な説明はどれですか。(2023年 福井公立入試 類似)
1. 陸上輸送による輸送時間が短縮され、大消費地へ鮮度を保ったまま迅速に出荷できるようになったため
 2. 橋の開通によって物流コストが大幅に削減された結果、養殖魚の販売価格を天然魚よりも安く設定できたため
 3. 橋の建設に伴って沿岸部の埋め立てが進み、最新の設備を備えた大規模な陸上養殖場が次々と建設されたため
 4. 本州からの観光客が自家用車で直接買い付けに来るようになり、産地直送の販売額が卸売市場を上回ったため
- 問13 高知県では、沖合を流れる黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用し、ビニールハウスなどの施設を用いてナスなどの野菜を栽培しています。このように、他の産地と出荷時期をずらし、通常の収穫期よりも早く栽培して出荷する農業の方法を何といいますか。(2017年 徳島公立入試 類似)
1. 促成栽培
 2. 抑制栽培
 3. 二毛作
 4. 有機農業

答え合わせ・解説

問1	答え 1 遠浅の海を埋め立てて広大な工業用地を確保し、大型船が接岸できる港を整備したため	水島コンビナートを含む瀬戸内海沿岸の工業地域は、波が穏やかで水深が深い天然の良港に恵まれているだけでなく、埋立地によって大規模な工場建設に必要な広大な土地を確保しやすかったため、原材料を輸入に頼る石油化学や鉄鋼などの重化学工業が発展しました。
問2	答え 1 促成栽培	温暖な気候を活かし、ビニールハウス等で温度を管理して出荷時期を早める方法です。高知平野のナスやピーマン、宮崎平野のキュウリなどが代表例です。これに対し、高冷地の涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。
問3	答え 1 高速道路網の整備により、自動車や高速バスへの転換が進んだことで、それまで主要な交通手段であったフェリーや旅客船の輸送人数が大幅に減少した。	1998年の明石海峡大橋の開通は、四国と本州を陸路で直結させる画期的な出来事でした。これにより、それまで主流だったフェリーや旅客船による移動が、自家用車や高速バスによる移動へと劇的にシフトしました。1997年まで年間200万人以上で安定していたフェリー等の輸送人数が、開通の年を境に急落し、2000年代には50万人を下回るなど、交通体系の大きな変化（交通転換）を象徴する事例となっています。
問4	答え 1 山陰地方は冬に北西の季節風の影響で降水量（降雪量）が多くなり、瀬戸内地方は山地に挟まれているため年間を通じて降水量が少ない。	山陰地方（日本海側）は、冬に湿った北西の季節風が中国山地にぶつかると、雪や雨などの降水量が多くなるのが特徴です。一方、瀬戸内地方は北側を中国山地、南側を四国山地に囲まれているため、季節ごとの湿った風が遮られ、年間を通じて温暖で晴天の日が多く、降水量が少なくなります。
問5	答え 1 愛媛県	愛媛県は、瀬戸内海に面した温暖な気候と、日当たりの良い傾斜地が多いという地形的条件を活かし、古くから柑橘類の栽培が盛んに行われてきました。みかんの主要産地として知られていますが、近年ではレモンの生産量でも全国上位に位置しており、広島県と共に国内の主要な産地を形成しています。
問6	答え 1 臨海部では石油化学や製鉄などの重化学工業が集積し、丘陵地では白桃やマスカットなどの果実栽培が行われている。	岡山県は南部が瀬戸内海に面しており、大規模な港湾設備を活かして原料を輸入し、石油製品や鉄鋼、自動車を生産する臨海型の工業が発展しました。これと並行して、県内の中央部に広がる丘陵地では、瀬戸内特有の温暖な気候を背景に、白桃やブドウ（マスカット）といったブランド力の高い果樹農業が確立されています。他の選択肢は、それぞれ北海道や東北、静岡県、鹿児島県の特徴を記述したものです。
問7	答え 1 関門橋	本州の最西端である山口県と、九州の北九州市は、関門橋（かんもんきょう）によって結ばれています。この橋は高速道路として利用されており、本州と九州を結ぶ大動脈となっています。明石海峡大橋は大蔵（兵庫県）と淡路島、瀬戸大橋は岡山県と香川県、大鳴門橋は淡路島と徳島県をそれぞれ結ぶ橋です。
問8	答え 1 自動車の製造や造船などの加工組立型産業が集積しているため。	瀬戸内工業地域は、沿岸部の埋め立て地を利用して鉄鋼や石油化学などの重化学工業が発展しましたが、広島県においては特に「加工組立型」の性質が強い自動車産業や造船業が発達しています。そのため、製造品出荷額等の構成においても、金属や化学を抑えて機械工業の割合が高くなっているのが特徴です。
問9	答え 1 促成栽培	高知県で行われているなすの栽培のように、温暖な気候や温室を利用して収穫時期を早める方法は「促成栽培」と呼ばれます。これにより、他の産地との競合を避け、価格が高い時期に出荷することが可能になります。一方、高冷地の涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる方法は「抑制栽培」と呼ばれ、長野県のキャベツやレタスなどがその代表例です。
問10	答え 1 歴史的な背景に由来する鉄鋼業が、県全体の製造品出荷額において主要な産業の一つとなっている。	島根県の工業は、歴史的な「たたら製鉄」の流れを汲む鉄鋼業が大きな割合を占めている点が最大の特徴です。太平洋ベルトや阪神工業地帯といった大規模な重化学工業地帯とは立地条件が異なりますが、独自の技術力を背景にした産業が製造品出荷額の上位に食い込んでいます。他の選択肢は、阪神工業地帯や九州地方（シリコンアイランド）などの異なる地域の特徴を述べています。
問11	答え 1 促成栽培	暖かい気候やビニールハウスなどを利用し、作物の生育を早めて出荷時期を前倒しする方法を促成栽培と呼びます。高知県ではこの手法を用いて、なすなどの野菜を冬から春の卸売価格が高い時期に出荷しています。これに対し、冷涼な気候を利用して出荷時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれ、長野県の高原野菜などがその代表例です。
問12	答え 1 陸上輸送による輸送時間が短縮され、大消費地へ鮮度を保ったまま迅速に出荷できるようになったため	本州四国連絡橋の開通は、四国から本州への物流に劇的な変化をもたらしました。それまでの船舶輸送に代わり、トラックによる陸上輸送が主流となったことで、目的の市場に届くまでの輸送時間が大幅に短縮されました。特に鮮度が商品の価値を左右する養殖マダイなどの魚介類にとって、このスピードアップは大きな利点となり、京阪神をはじめとする大消費地へ高品質な状態で出荷できるようになったことが生産量拡大の要因です。
問13	答え 1 促成栽培	高知県は冬でも温暖な気候に恵まれているため、その特性を活かして野菜の成長を早める栽培が盛んです。この方法は、他の産地が生産できない冬から春にかけて出荷することを目的としています。これに対し、長野県などの高冷地で夏でも涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。